



3R実践講座「パッチワーク教室」 講師：田中喜代子さん作品

3R 情報発信 活動支援 学習体験

今年は家族みんなで“省エネ”にチャレンジ!(照明器具編)

省エネ型の照明器具として、ここ数年で飛躍的に開発が進み、その効果が注目されているLED照明。家庭内の電力削減のために白熱電球や電球形蛍光ランプをLEDランプに切り替えたいけど、どの製品を選べばよいのかわからないという方も多いと思います。

LEDランプの寿命は約40,000時間で、白熱電球のおよそ40倍。消費電力も約85%抑えることができ、電気代の節約にもつながります。環境にも家計にもやさしい照明と言えます【表1】。電源のオン/オフの繰り返しに強い、光で物を傷めにくい、虫が寄り付きにくいなど、利点が多いのもうれしいですね。照明器具の寿命は約10年。外観では判断できない箇所が劣化し、まれに煙や蒸気を発する例もあることから、10年以上使っているものは点検や交換が必要です。

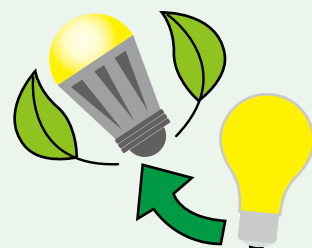
【表1】

	白熱電球60W相当	電球形蛍光ランプ	電球形LEDランプ(昼光色)
製品価格	100円程度	700~1,200円程度	1,000~3,000円程度
エネルギー効率 (lm/W)	15 (54W、810lm)	68 (12W、810lm)	90 (9.4W、850lm)
年間電気代*	2,920円/年	650円/年	510円/年
寿命	1,000時間	6,000~10,000時間	40,000時間
省エネ特徴		省電力(白熱電球の約1/4) 長寿命(白熱電球の6~10倍)	省電力(蛍光ランプの約3/4) 長寿命(蛍光ランプの4~7倍)
発光技術	フィラメントで高温発光	熱を抑え放電により発光	全く新しいLED発光

白熱電球60W相当品での比較です。
 (参考：総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会省エネルギー小委員会
 照明器具等判断基準ワーキンググループ最終取りまとめ)
 *年間電気代は、1日5.5時間点灯した場合の目安電気料金です。

★電球形LEDランプを選ぶときは

- ①口金のサイズ(E26、E17等)や引掛シーリングの形状を確認する。
- ②部屋の広さにあった明るさ(ルーメン=lm)を選ぶ。【図1】
- ③リビング・ダイニングには全方向が明るいタイプ、廊下やトイレには下方向が明るいタイプなど、設置する場所に応じた光の広がり方を選ぶ。
- ④電球色、昼白色、昼光色の中から、部屋の用途に合った光の色を選ぶ。
- ⑤ダウンライトなどの枠や反射板に「Sマーク」がついている場合は、断熱材施工器具対応タイプを使用する。【図2】



★使い方で省エネ

- ①かさやカバーはこまめに掃除して明るさをキープ。
- ②長時間部屋を空けるときは壁スイッチで電源オフ。
- ③使用する場所によって調光機能や人感センサー機能等を活用。

【図1】

一般電球 (口金 E26)	電球形LEDランプ (口金 E26-一般電球形)
60形	→ 810 ルーメン(lm)以上
40形	→ 485 ルーメン(lm)以上
30形	→ 325 ルーメン(lm)以上
20形	→ 170 ルーメン(lm)以上

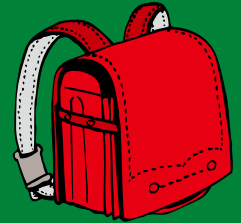
【図2】



「ランドセルは海を越えて」キャンペーンのご紹介

使い終えたランドセルを アフガニスタンの子どもたちに届けよう!

使用済みのランドセルをアフガニスタンの子どもたちに届ける『ランドセルは海を越えて』キャンペーンが今年も始まりました。このキャンペーンは、ランドセル用素材として7割以上のシェアを占める人工皮革「クラリーノ」を生産するクラレが中心となり、全国から届けられた使用済みランドセルをアフガニスタンの子どもたちに贈る活動。日本の子どもたちに、ランドセルという身近なものを通してボランティアとリサイクルの気持ちを知ってほしいという願いをこめて2004年にスタート。今年で15年目を迎え、これまで11万個以上のランドセルが海を渡りました。



小学校に入学するとき、当たり前のように手にするランドセル。日本では小学校に通い、教育を受けることは、子どもたちみんなに与えられた当然の権利です。しかしアフガニスタンは、政治や宗教、民族など複雑な事情が絡み合い、いまだ多くの子どもたちが十分な教育を受けられていない国のひとつ。特に女子は旧タリバン政権時代に教育の必要性が認められていなかったために、その多くがまともに学校に通うことすらできないのが現状です。



ランドセルを受け取ることで、学校で教育を受ける機会が生まれ、読み書きがで



きるようになれば、子どもたちのその後の人生に大きなチャンスを与えられるかもしれません。アフガニスタンの子どもたちの幸せを願い、私たちの大切な思い出が詰まったランドセルを届けてみませんか?

受付の条件として、色や年数は問いませんが、使用可能な状態であること、学校指定のデザインランドセルでないこと、また宗教上の理由から一部でも豚革を使用したランドセルは送れないのでご注意ください。ランドセルにはプレゼントとして、未使用の鉛筆やノート等の学用品を入れて贈ることもできます。

写真：「ランドセルは海を越えて」(ポプラ社刊)より

※申込み期間、発送方法等、詳細は「ランドセルは海を越えて」キャンペーンのHPでご確認ください。
<https://www.omoide-randoseru.com/home.html>



貸出図書
コーナーより

👉 今月のおすすめ図書

「ランドセルは海を越えて」 内堀 タケシ 写真・文

「日常」をテーマに世界60か国以上でルポルタージュ(現地報道)を続けているカメラマン・内堀タケシさんは2001年からアフガニスタに通うなかで、この「ランドセルは海を越えて」キャンペーンの活動も撮り続けています。そんな内堀さんがレンズを通して語る写真絵本。そこにはアフガニスタンの厳しい現実とともに、日本から贈られたランドセルを大切に抱える子どもたちの笑顔があふれています。小さな黒板一つしかない屋外の教室でランドセルを机代わりに熱心に勉強する子どもたち……。あらためて自分たちが当たり前だと思っている日々の暮らしが、どれだけ恵まれたものであるかを思い知らされる一冊です。



自宅にリサイクルBOXを設置し、 地域の資源回収の拠点に!

篠原 ヤエ子さん（早良区）



自宅の玄関横に設置された大きな紙ごみリサイクルBOX。その脇にはビールびんやアルミ缶、古着の回収容器もあり、毎日近所の人々が資源ごみを持ってやってきます。早良区野芥で長年にわたり、地域の資源回収に取り組んでいる篠原ヤエ子さん。廃油せっけん作りや河川清掃など、30年近くにわたるさまざまなボランティア活動において、地域のリーダー役としての活躍が評価され、平成28年度に第8回福岡市環境行動賞最優秀賞（個人）、平成29年度には福岡県循環型社会形成推進功労者知事表彰を受賞されています。「ボランティア活動は、唯一飽きずに続いている私の趣味かな」と笑顔で語る篠原さんにお話を伺いました。



自宅の玄関横に設置したリサイクルBOXの前で。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。

A. 知り合いに誘われて河川の清掃に参加したのが始まりです。川の汚れやごみの多さに驚き、その時の仲間と「21世紀まで頑張ろう」という思いで『早良リサイクル21の会』を発足しました。近所の人がいづでも資源ごみを出せるようにと、自宅敷地内にリサイクルBOXを設置。以来、30年近く資源回収や廃油せっけん作り、河川清掃などを行ってきました。現在、リサイクルBOXの管理やせっけん作りは、ほとんど私一人でやっています。一日に数回リサイクルBOXをのぞいて荷崩れがないかを確認し、新聞やダンボールの束を結びなおしたり、積みなおしたりするのが日課です。収益はすべて福祉活動や被災地に寄付しています。

Q. せっけん作りに使う油はどうされているのですか。

A. 以前は幼稚園など、まとまった量を寄付してくださるところがあったのですが、いまは近所の人々が持ってきてくれる廃食油を集めて作っています。自宅裏に専用の工房も作りました。100個単位で買いに来てくれる方もいるので、常に在庫は必要。時間が空くと工房にこもり、集中して作っています。地域のバザーなどでも販売し、収益は廃品回収と同様、すべて寄付金として貯めています。



せっけんの材料となる廃食油を専用タンクにストック。



きれいにカットし、ラッピングされた手作り廃油せっけん。

Q. 今後の目標について教えてください。

A. とにかく細々とでも続けることに意味があると思っています。私自身、いつも地域の方に助けていただいているので、私が活動することで少しでも地域に貢献できれば何よりうれしいし、励みになります。年齢的にいつまでできるかわかりませんが、喜んでくれる人たちがいるうちは、できる限り頑張るつもりです。



西部3Rステーション 講座・イベント情報



西部3Rステーションでは、3R実践講座や各種体験講座を開催しています。福岡市内に在住の方、通勤、通学されている方なら、どなたでもご参加いただけます。身近な3Rを体験してみませんか。

4月の「3R実践講座」

パッチワーク教室【全12回】

日時/平成30年4月3日(火)～6月26日(火)
原則火曜日 13:00～16:00
定員/12名(抽選)
参加費/1,500円
応募締切/3月20日(火)必着



※写真は1作目

持ってくるもの/土台になる布26cm×26cmを1枚。35cm×35cm位の布を4種類以上。布用・紙用はさみ。裁縫道具一式。筆記用具。

衣類のリフォーム教室【全8回】

日時/平成30年4月4日(水)～5月23日(水)
原則水曜日 13:00～16:00
定員/10名(抽選)
参加費/800円
応募締切/3月20日(火)必着



持ってくるもの/リフォームしたい洋服や着物。型紙用紙(模造紙など)。裁縫道具一式。筆記用具。

作務衣上下(裏付き)【全4回】

日時/平成30年4月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)
13:00～16:00
定員/15名(抽選) 参加費/500円
場所/2階研修室 応募締切/3月20日(火)必着



持ってくるもの/袷(あわせ)の着物1枚(ほどいて洗い、アイロンをかけておく)、単衣の着物を使用する場合は、裏地90cm幅×3m程度が必要。裁縫道具一式、型紙用紙、紙用・布用はさみ、筆記用具。

押絵のこいのぼり【全2回】

日時/平成30年4月14日(土)、21日(土)
13:00～16:00
定員/15名(抽選)
参加費/500円
場所/2階研修室
応募締切/3月27日(火)必着



持ってくるもの/裁縫道具一式、紙用はさみ、おしぼり。

【応募方法】 はがき、FAX、または西部3Rステーションの2階受付で①希望講座②住所③氏名④年齢⑤電話番号を必ず明記し、ご応募ください。抽選の上、当選者のみはがきで詳細をご案内いたします。

体験講座!

すべて無料です!!

つまみ細工の花飾り

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



廃材で作る動物スタンプセット

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



お花のメモスタンド

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



牛乳パックでメモ&フォトブック

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



ecoでおしゃれなマグネットインテリア

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



ボタンdeスタンプ

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



牛乳パックで紙すき体験

毎日 10:30～15:00
所要時間30分程度
【申込】随時



ハーブ入り「リサイクル」せっけん作り

水曜日 10:30～11:30
【定員】10名/日(先着順)
【申込】希望日の3日前まで



★体験講座の申込方法★ 電話、又は西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①体験内容②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記のうえ、FAXにて下記あてにお申込みください。

生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談下さい。
場 所/2F啓発コーナー 参加費/無料 事前申込/不要

●ふくおか環境倶楽部主催

日 時/毎週土曜日 13:00～16:00

●NPO法人循環生活研究所主催

日 時/毎月第2金曜日 10:30～14:00



ダンボールコンポスト講習会

ダンボールコンポストを始めてみたいという方、ご参加ください。ご家庭で使いみちの無い堆肥は引き取り、新しいコンポスト基材と無料で交換いたします。まずはご相談ください。

●ふくおか環境倶楽部主催

日 時/毎月第4土曜日 10:30～12:00

場 所:2F啓発コーナー 参加費/無料

事前申込/不要 ※基材・テキスト購入可



西部3Rステーション ご利用案内



開館時間:10:00～17:00(衣類等の持ち込みは16:00まで)

休 館 日:月曜日(祝日の場合は開館し、次の平日休館)

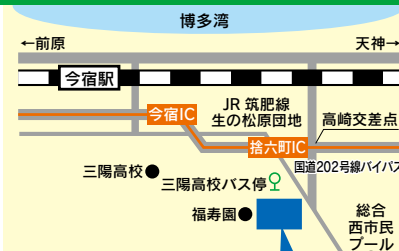
年 末 年 始(12月28日～1月3日)

住 所:福岡市西区今宿青木1043-2(クリーンパーク西部内)

T E L:092-882-3190 FAX:092-882-4580

【ウェブサイト】 <http://www.fukuoka-seibuplaza.com> 福岡市西部3Rステーション 検索

西部3Rステーションのイベント情報や暮らしに役立つごみ減量3R情報が満載です!



西部3Rステーション

●西鉄バス「三陽高校前」より徒歩約2分